

東風の里通信

146号

発行元
東風の里広報委員会

南部地区医師会立 介護老人保健施設『東風の里』
〒901-0411 沖縄県八重瀬町字友寄 891 - 1 番地
TEL (098) 998 - 9390 FAX (098) 998 - 9393
<http://www.nanbu.okinawa.med.or.jp>



夏の風物詩「スイカ割り」!



9月22日(日)に2F、3F各フロアで夏の風物詩『スイカ割り大会』を行いました。

普段は静かな利用者様もスイカを割る時になると、棒を振り上げスイカめがけて何度も何度も振りかざしていました。そのおかげで無事スイカを割る事ができました。

室内で過ごすことの多い利用者様に少しでも夏を感じてもらえたと思います。

普段とは違う雰囲気にご利用者様、私達職員も笑顔が溢れ、とても楽しい時間を皆で過ごすことができました(*^^)v



デイケア敬老会 開催!



令和元年10月5日(土)にデイケア敬老会を開催致しました。

利用者様50名ご参加頂き大いに盛り上がりました。

まず利用者様に楽しんでいただけよう出し物として、リハビリ職員とくち庭職員によるかぎやで風から始まり、花城施設長によるお祝いの言葉・乾杯の音頭。トーカー2名様とカジマヤー1名様のお祝い者紹介。そしてお楽しみサプライズゲストによる歌・三線・演舞とカチャーシー!ゲストが奏でる三線と太鼓そして美しい歌声に車椅子から立ち上がり踊りだす利用者も!最初から大盛り上がりの中感動と笑いの一時でした。そして城間事務長より終わりの挨拶を頂き素晴らしい宴となりました。

最高齢は100歳。何でも自分でされるとてもお元気な方です!今年も皆様とご長寿を一緒にお祝いする事ができ職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。来年もお祝いでできる事を願っております!

通所リハビリ 富岡智子



2019年

東風の里秋祭り



令和元年9月7日土曜日に、今回初の試みで、東風の里秋まつりを屋外では無く体育館にて開催いたしました。まつりの司会者は、看護師の桃原務さんと3階入所介護の新田美佐江さんの息の合った進行で会場を盛り上げていました。花城施設長の開会の挨拶の後、りんごの木保育園の可愛らしいエイサー、古典太鼓ちゃんなんの皆様による太鼓と手話とダンス、とみ会さんによる琉舞で会場が盛り上がりました。友寄青年会による棒術獅子舞を、3階入所介護の大城佑介さんが披露し、利用者様やご家族の皆さんを魅了しました。

今回、インドネシアからインターンシップ実習生が来られているので、ご家族のみなさまへの紹介がありました。最後は創作太鼓衆・美らさ(ちゆらさ)の迫力ある創作エイサーで会場を大いに盛り上げ、カチャーシーで閉幕しました。まつり後、多くの利用者様から「すごく楽しかった」「来年も楽しみさ」と声を頂き、達成感に満ち溢れた素晴らしい会となりました。

3階入所介護 大城孝広

沖縄県喀痰吸引等研修を受講して

令和元年 9 月 15 日 沖縄県喀痰吸引等研修に行かせて頂きました。

平成 23 年の法改正により、認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員や、平成 28 年度以降に介護福祉士となる者は、厚生労働省令で定められた喀痰吸引等を行うことが出来るようになりました。

認定証の交付を受けるためには、50 時間の講義を受け、筆記試験に合格し、演習を終え、実地研修をクリアする必要があります。

今回の研修では、実地研修を行う上での、吸引技術（手順）の習得確認のための評価方法などについて学びました。

吸引等の医療行為は利用者様の体に直接管を挿入する為、危険を伴う行為でもあります。安全に行うため確実な技術の確認を行っていききたいと思います。

今後、職員及び利用者様、ご家族様の協力も必要となりますのでどうぞよろしくお願ひします。

看護 西江 智子



職員観月会

朝晩が少しずつ冷え込むようになってきましたが、皆さん体調を崩されてないでしょうか？気を付けてくださいね。さて、10月26日（土）に互助会イベントであります観月会を、大里居酒屋だもん家にて行いました。

普段話す機会の少ない人ともゆっくり語り合うことができた方も多かったように感じられました。

職員全員の参加とまではなりませんでした。参加された皆様はお腹いっぱい食べて飲んで栄養補給も出来たことなので、また仕事も一生懸命頑張りましょう。

看護 伊集かおり

編集後記

日が過ぎてゆくのも早いもので、今年も残すところ2カ月少々となりました。朝は肌寒く、日が沈むのも早くなり、秋が来たなあと思います。

今年の5月には新年号の令和となり、10月から消費税が10%へ増税になるなどいろいろあった年でした。

私事ですが、7月に無事、元気な男の子が誕生し新しい家族が増え私にとって最高の良い年となりました。

しかし本土では、大雨や台風による自然災害によって多くの死者、行方不明者がでていて胸をしめつけられる思いです。

来年には東京オリンピックがあります。被災地や、災害に遭われた方々が1日でも早く復興して、笑顔で元気に日本選手団を心から応援できたいなあと思っています。

看護 喜舎場 亘